

2018年4月2日

一般財団法人阪大微生物病研究会

報道関係者各位

体外診断用医薬品の新規開発を目指し バイオメディカルサイエンス(BMS)センターを新設

一般財団法人阪大微生物病研究会（以下、BIKEN 財団）は、4月2日、感染症の体外診断用医薬品の開発を目指し、「バイオメディカルサイエンスセンター」（以下、BMS センター）を新設しました。このBMS センターでは、BIKEN 財団が長年培ってきた臨床検査技術とワクチン研究開発の知識を活用し、感染症の体外診断用医薬品、中でも迅速診断キットの開発に新たに踏み出します。

迅速診断キットは、医療現場において患者の傍らで検査を実施することが可能なものであり、リアルタイムに結果を得られます。感染症の有無を迅速に診断できれば早期治療が可能となり、重症化を防ぐことに繋がるため、小児や高齢者を始めとするハイリスク患者の感染症対策に大きな役割を果たすものと考えられます。また、救急医療現場での医療従事者における血液接触による感染症感染リスクの低減にも役立ちます。

BMS センターは、従来の臨床検査部が担ってきた検査事業を引き継ぐとともに、命に関わり、診断に時間を要する感染症をターゲットとした体外診断用医薬品の研究開発に取り組んでいきます。

以上

一般財団法人阪大微生物病研究会（BIKEN 財団）について

BIKEN 財団は、ワクチンの研究・開発と生産・供給を担う、バイオ・スペシャリティ・ファーマです。1934年の設立以来、社会の要請に応え、数多くの日本初となるワクチンの開発、生産、供給を行なうとともに、先進的な臨床検査サービスを提供し、公衆衛生に貢献してまいりました。

BIKEN 財団はこれからも「優れたワクチンを通じて、世界中の人々の大切な命を守る。」というミッションの下、病の不安から解放された、すこやかな社会をめざし、高度なサイエンスと独自のバイオ技術の進歩を追及し続けます。

本件に関するお問い合わせ先

一般財団法人阪大微生物病研究会 広報室

TEL : 06-6877-4802 e-mail:biken-pr@mail.biken.or.jp